

# 新型コロナウイルス感染症の対応に関するガイドライン

日本国内においては爆発的な感染拡大には進んでいないものの、不安定な状況は続いています。地域ごとの状況に応じた、一人ひとりの「行動変容」や強い「行動自粛の呼びかけ」が重要である状況に、変わりありません。

帯広大谷短期大学はこうした状況に鑑みて、次のとおり対応いたします。

## 1. 感染症対策について

対策のポイントは「感染源を断つ」「感染経路を断つ」「免疫力を高める」の3点です。

### ①感染源を断つ

- ・ 自宅で検温や手洗いの習慣をつけるように指導し、風邪症状の確認を行います。
- ・ 自宅で検温ができない学生については保健室で対応いたします。

### ②感染経路を断つ

- ・ 手洗いや咳エチケットの徹底を指導します。
- ・ 多くの人が触れるドアノブ、手すり、スイッチなどは適宜、消毒液を用いて清掃を行います(消毒用アルコールもしくは次亜塩素酸ナトリウムなど)。

### ③免疫力を高める

- ・ 基本的な体調管理(睡眠、食事、運動など)を心掛けるよう指導します。

## 2. 学内での具体的な取り組みについて(学生・教職員共通)

- ・ 学生は登校時に洗面所での十分な手洗いをしてから教室に入り、教職員も同様に、手洗いをしてから就業に臨みます。
- ・ 着席時は出来れば1机に1人、やむを得ない場合は座席を1つ開けて2人までとします。適宜、教職員からも指導をします。
- ・ 休み時間も狭い場所で複数で過ごすことは避けるように指導します。
- ・ 休み時間は窓を開けて換気をします。教職員は開閉について、学生にその都度を指示します。
- ・ 清潔なマスク、ハンカチなどの利用を推奨します。
- ・ 体調不良時は速やかに学校に連絡を入れ、休息並びに受診勧奨をします。
- ・ 啓発ポスターを掲示します。

以上

帯広大谷短期大学  
学長 田中 厚一